

2022.6.3
副首都ビジョンバージョンアップに
向けた意見交換会 人材分科会

大阪の成長・発展に向けたまちづくり ～新しいまちづくりのランドデザインの検討状況を中心に～

大阪都市計画局

1. 大阪都市計画局について

大阪都市計画局設置の概要（2021年11月設置）

【目的】

○大阪の成長及び発展を支える大都市のまちづくりについて、広域的な視点から府市一体で推進する。

【設置の効果】

- 「ワンストップ窓口」の設置による、民間事業者の負担軽減・利便性の向上
- 大阪市の持つノウハウの府域全体への展開
- 府市間調整の迅速化による、事業実施までのスピードの向上

【新組織の事務概要】

大阪都市計画局

府市共同事務

- まちづくりに係る企画、調整及び推進に関すること（ランドデザイン など）
- 広域的な拠点開発に係る企画、調整及び推進に関すること
- ワンストップ窓口に関すること
- 都市計画の事前調整に関すること

府事務

- 都市計画(市からの事務委託含む)に関すること など
- 戦略的な拠点開発の企画、調整及び推進に関すること など

市事務

- 広域的な拠点開発事業に関すること

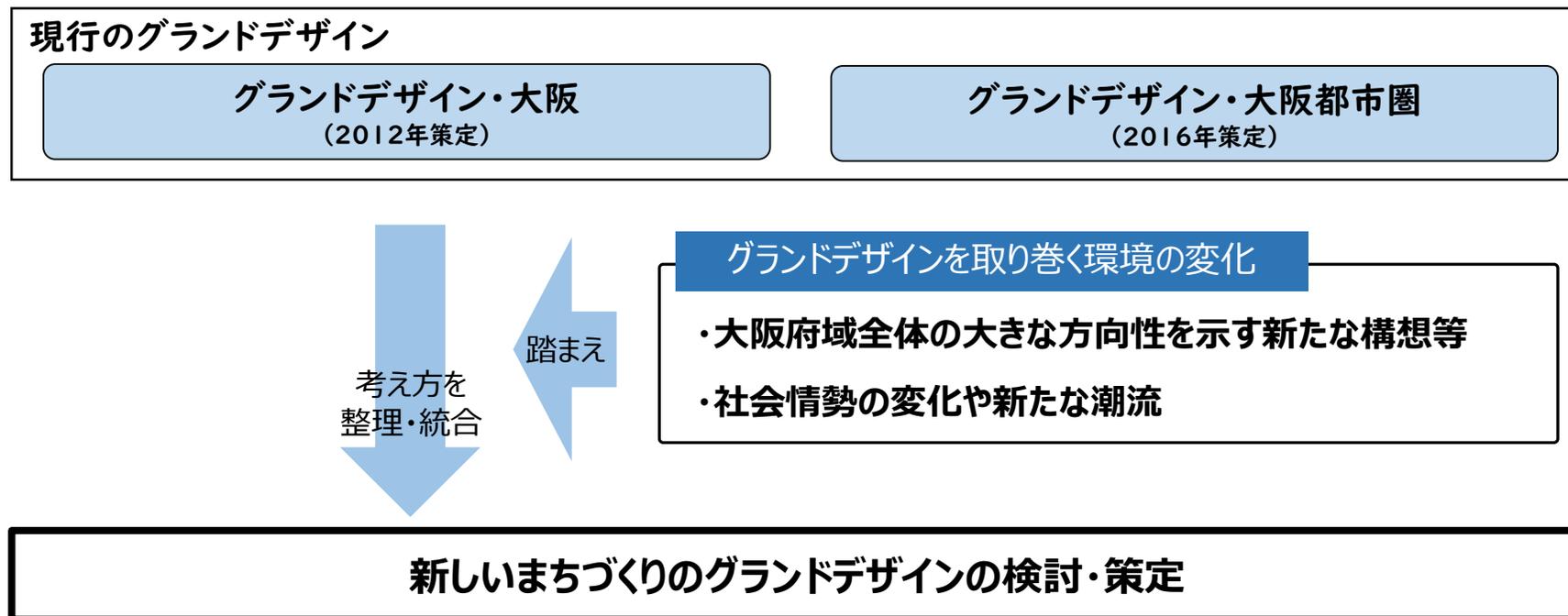
(2021年4月 副首都推進本部会議資料より抜粋)

2. 新しいまちづくりのグランドデザインの 検討について

※第1回新しいまちづくりのグランドデザイン
推進本部会議資料等より抜粋

(1) 新しいまちづくりのランドデザインの策定の背景・目的

- 大阪・関西万博のインパクトを活かし、東西二極の一極を担う「副首都」として、さらに成長・発展していくため、「ランドデザイン・大阪」と「ランドデザイン・大阪都市圏」の策定後に生じた社会情勢の変化や新たな潮流等を踏まえるとともに、現在の2つの計画の考え方を整理・統合し、2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示すものとして策定する。
- ランドデザインは、官民にわたる多様な主体が共有し、民間活力を最大限引き出しながら、各種取組みを一体となって推進するための羅針盤としての役割を担う。



「グランドデザイン・大阪」について

2050年を目標に、変化し、躍動する大阪の今後の方向性を、広く世界に発信するとともに、大都市・大阪の都市空間の姿を分かりやすく示すもの（2012年（平成24年）策定）

【将来像】

多様な価値を創造する大都市・大阪の実現 ～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～

- 強い大都市・大阪 ～国際競争に打ち勝つ～
- 便利で快適な大都市・大阪
- 多様な人材が集積する大都市・大阪
- 都市魅力あふれる大都市・大阪
- 安全・安心な大都市・大阪

【取組みの視点・考え方】

- **仕組みのグレート・リセット**
民間主導／府市バラバラからの脱却／
段階的に実行
- **ハードのグレート・リセット**
みどりを圧倒的に増やす／
水を綺麗によみがえらせる／
街並みを美しく生まれ変わらせる

【取組み内容】

大阪らしいポテンシャルとストックを持つ
象徴的な6エリアのポテンシャルと今後の
取組みを提示



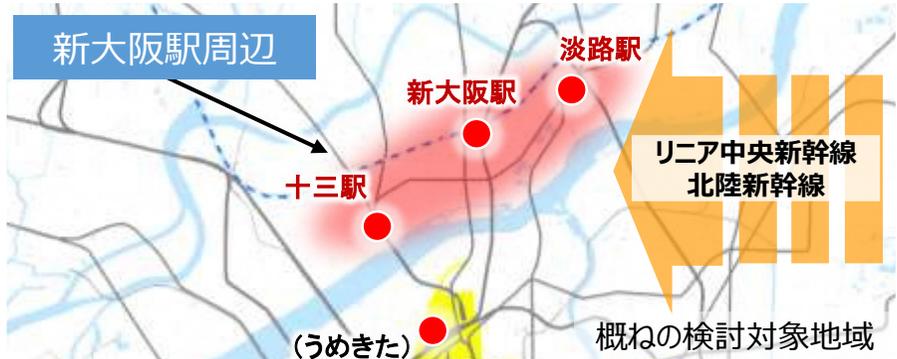
「グランドデザイン・大阪」の主な取り組み

新大阪・大阪エリア



うめきた2期地区全景イメージ

提供：うめきた2期地区開発事業者



出典：「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針の骨格」より

夢洲・咲洲エリア



2025年大阪・関西万博会場パース

提供：(公社)2025年日本国際博覧会協会

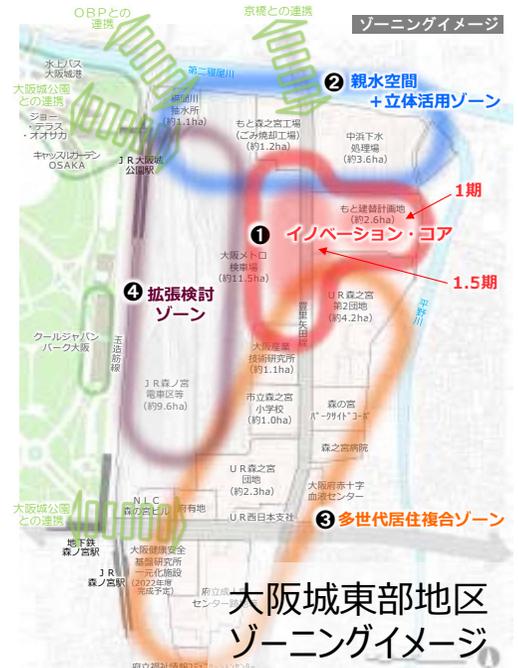
中之島・周辺エリア



未来医療国際拠点イメージ

提供：中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者

大阪城・周辺エリア



出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」より

なんば・天王寺・あべのエリア



なんば駅周辺道路空間イメージ

出典：「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」より

御堂筋・周辺エリア



側道歩行者空間化イメージ

出典：「御堂筋未来ビジョン」より

※これまで、「うめきた」をはじめとした都市開発にあたり、都市再生特別地区を活用。今後も引き続き、都市再生特別地区などの制度を活用することで民間活力を呼び込み、緊急かつ重点的に市街地の整備を促進

「ランドデザイン・大阪都市圏」について

関西全体を視野に、概ね関西大環状道路の範囲内を大阪都市圏として、2050年を目標に「広域連携型都市構造」への転換を行い、民間主導により、人・モノ・情報・投資を呼び込める府域全体の都市空間創造に向けた大きな方向性を示すもの（2016年（平成28年）策定）

【基本目標】

**東西二極の一極を担う大阪都市圏の実現
～圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造～**

【目標】

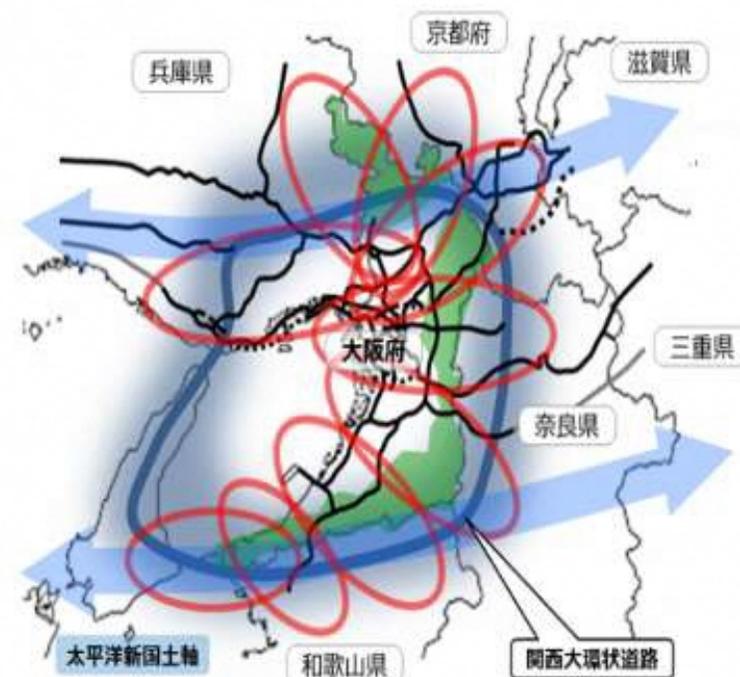
- 都市間競争に打ち勝つ
- 多様な人材が集積する
- 都市魅力あふれる
- 便利で快適
- 安全・安心

【基本的な考え方】

多様な人材の集積 **好循環** 地域価値の創造

【取り組み内容】

広域連携型都市構造への転換、産業、自然環境などの地域資源を活かした取り組みを提示



「グランドデザイン・大阪都市圏」の主な取組み

淀川沿川 広域連携型まちづくり



淀川を航行する観光船
(淀川河川事務所HPより)

自転車を活用した 広域連携型まちづくり



さくらであい館 走行会

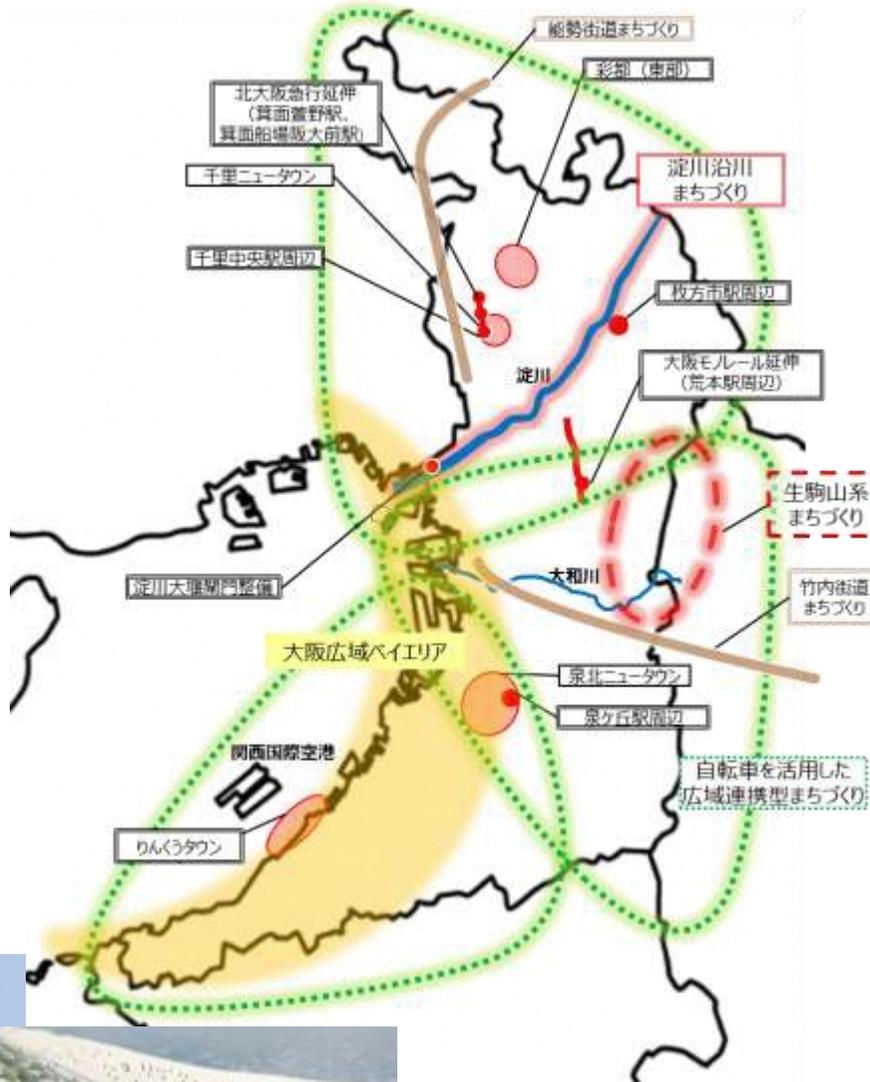
大阪広域ベイエリアまちづくり



堺旧港



りんくうタウン
(SENNAN LONG PARK H
Pより)



彩都（国際文化公園都市）東部地区



北大阪急行延伸
(箕面船場阪大前駅周辺)
複合施設イメージ



泉北NT（泉ヶ丘駅周辺）
近畿大学医学部・病院イメージ
(近畿大学HPより)

(2) 策定に当たって考慮すべき事項

大阪府域全体の大きな方向性を示す新たな構想等

大阪の再生・成長
に向けた新戦略

万博のインパクトを活かした
大阪の将来に向けたビジョン

副首都ビジョン*

大阪スマートシティ戦略*

など

*バージョンアップに向け議論中

社会情勢の変化や新たな潮流

国際拠点形成・インフラ整備の進展

- ・大阪・関西万博の決定、I R誘致の取組み
- ・国際金融都市に向けた取組み
- ・国家戦略特区の展開
- ・広域インフラ等の整備の進展

世界のダイナミズム

- ・世界経済・人口の中長期的な拡大
- ・都市の国際競争力強化の必要性

観光・インバウンドの動向

- ・世界的な観光需要の高まりと観光形態の変化
- ・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録

暮らしを取り巻く環境変化

- ・ウォーカブルなまちづくりの必要性の高まり
- ・コロナ禍を契機とした新しい生活様式の普及
- ・人口減少の進展、超高齢社会の到来
- ・低未利用地・空き家の増加

産業動向の変化

- ・第4次産業革命による産業形態の変化
- ・製品購入からサービス購入の時代へ
- ・生産拠点等の国内回帰等、サプライチェーンの強化

持続可能な社会に向けた動き

- ・SDGs達成、サーキュラーエコノミーの提唱
- ・カーボンニュートラル、グリーン&ブルーリカバリーの提唱

テクノロジーの進展

- ・スマート・スーパーシティ、都市のDXの実証・実装
- ・モビリティ革命（自動運転・空飛ぶクルマ）
- ・デジタルとリアルとの融合
- ・デジタル田園都市国家構想

安全・安心の確保

- ・自然災害の激甚化・頻発化、切迫
- ・高度成長期以降に整備されたインフラの老朽化

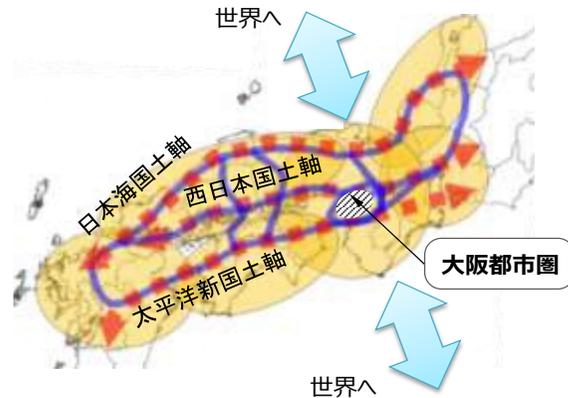
(3) 検討項目の現状

■国際競争力を備えた広域経済交流圏の形成

・淀川左岸線や京奈和自動車道、北陸新幹線（金沢～敦賀駅間）、リニア中央新幹線（品川～名古屋駅間）等の広域インフラの整備が進められている。

⇒リニア中央新幹線開業によるインパクトや中長期的な国土軸構想等を踏まえつつ、世界のゲートウェイ、スーパー・メガリージョンの西の核、西日本経済の核として相応しい都市・圏域の形成について検討を進める。

【世界のゲートウェイ】



出典：国土地理院ウェブサイト 白地図を基に作成

【広域インフラの整備状況】



出典：「関西広域連合広域インフラ検討会 広域インフラマップ」を一部加工

【スーパー・メガリージョン】



出典：「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域 まちづくり方針の骨格」

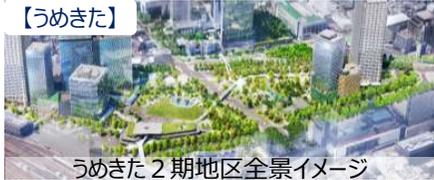
■国際的な大都市に相応しい拠点エリアと魅力形成

・「グランドデザイン・大阪」に基づき、「新大阪・大阪エリア」、「大阪城・周辺エリア」など、大阪市内の6エリアにおいて、拠点形成やストック・ポテンシャルを活かしたまちづくりが進められている。

⇒ 国際交流拠点・イノベーション拠点の形成を進めるとともに、国際金融都市実現に向けた取組みやスーパーシティ構想の動向等を踏まえ、国際的な大都市に相応しい拠点形成について検討を進める。

【大阪市内の6つのエリア】

新大阪・大阪エリア



2020年12月時点のイメージパースであり、今後変更となる可能性がある。
 (提供：うめきた2期地区開発事業者)



新大阪をとりまく環境 (イメージ)

出典：「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくりの方針の骨格」より

夢洲・咲洲エリア



夢洲・咲洲地区のまちづくり



なんば・天王寺・あべのエリア



なんば駅周辺道路空間イメージ

出典：「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」より

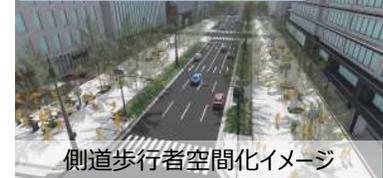
中之島・周辺エリア



未来医療国際拠点イメージ

提供：中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者

御堂筋・周辺エリア



側道歩行者空間化イメージ

出典：「御堂筋将来ビジョン」より

大阪城・周辺エリア



大阪城東部地区ゾーニングイメージ

出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」より

■府内各地域の中核となる拠点形成と特色あるまちづくりの推進

・デジタル化の急速な進展や新型コロナ禍を契機として、多様な働き方・暮らし方を支えるまちづくりや、職住遊学の機能がバランス良く融合した空間形成などの多機能化・複合拠点化を進めることが求められている。

⇒ 多様な働き方・暮らし方ができる都市の実現に向け、地域の核となる多様な機能を備えた拠点形成や産業用地の創出、地域資源を活かした特色あるまちづくり等について検討を進める。

【目指すべきまちづくりの方向性】 多様な働き方、暮らし方を支えるまちづくり



働く、遊ぶ、暮らすのあいだ 郊外型コワーキングスペース「ネスティングパーク黒川」



出典：ネスティングパーク黒川HP

✓ オフィス機能を備えた居心地の良い郊外エリアの形成。

出典：第3回奥森ゲスト委員会発表資料

出典：「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」中間とりまとめ参考資料（国土交通省 2021年4月）より

■新しい生活スタイルの先導、超高齢社会に対応したまちづくり・住環境の整備

・泉北NTや河内長野市南花台等において、ICT技術等の先端技術を活用し、高齢化の進展をはじめとした様々な地域課題の解決を図るとともに、住民の利便性と生活の質の向上をめざす「スマートシティ」の取組みが進められている。

⇒ モデル的取組みの横展開など、テクノロジーの積極的な導入、スマートシティの取組み等による郊外住宅地や主要駅周辺等の再生について検討を進める。

【泉北ニュータウンにおける取組み】



出典：「SENBOKU New Design」堺市（2021年5月策定）より

【河内長野市南花台における取組み】



出典：「河内長野市スーパーシティ構想 再提案書」河内長野市（2021年10月）より

■交通インフラとの連携

・北大阪急行延伸部等のまちづくりや、第二京阪沿道等での産業立地の誘導などの取組みが進められている。

⇒ 鉄道の延伸や高架化、主要幹線道路の整備等と連携したまちづくりに加え、新しい交通システムや自動運転等の新技術の導入など、中長期的なモビリティの進展も踏まえたまちづくりの方向性について検討を進める。

【北大阪急行延伸部のまちづくり】



【第二京阪沿道まちづくり】



出典：「第二京阪沿道まちづくり方針」

【モビリティの進展を踏まえたまちづくり】



出典：「2040年、道路の景色が変わる」国土交通省（令和2年）



船場エリア複合公共施設（箕面船場阪大前駅周辺）
※箕面市提供

■ 広域連携による地域活性化

・「グランドデザイン・大阪都市圏」に基づき、淀川沿川や自転車を活用した広域連携、大阪広域ベイエリアでのまちづくりが進められている。

⇒ 河川空間を活かしたかわまちづくりや、周辺山系の地域資源を活かした魅力あるまちづくりなど、豊かな自然環境や歴史・文化・景観資源等を活かした新たな広域連携の取組みについて検討を進める。

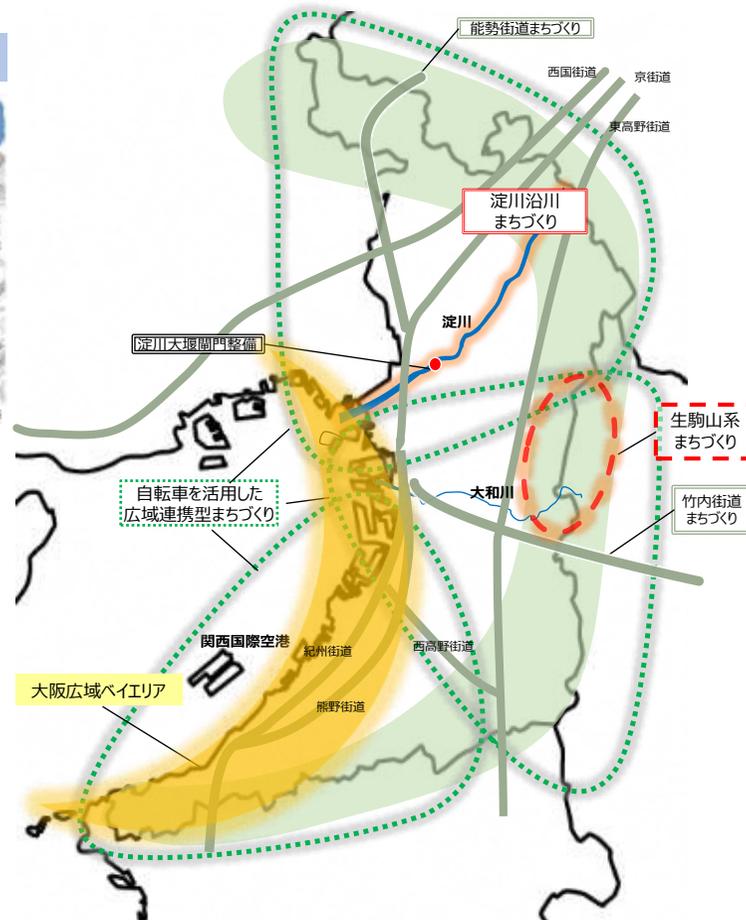
大阪広域ベイエリアまちづくり



堺旧港親水護岸で交流空間の創出に向けた社会実験
出典：堺市HPより



堺旧港と夢洲等を結ぶ舟運事業の社会実験



淀川を航行する観光船（淀川河川事務所HPより）



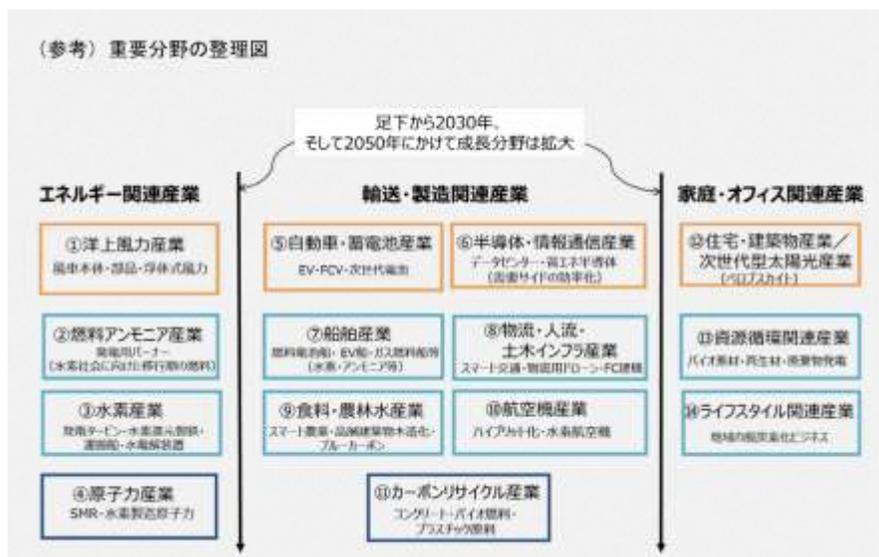
さくらであい館 走行会

■持続可能で災害に強く、安全・安心な都市の形成

- ・2050年カーボンニュートラルの実現に向け、エネルギー関連産業、輸送・製造関連産業、家庭・オフィス関連産業など様々な産業分野での取組みが求められている。
- ・洪水・土砂対策やため池の防災・減災対策、密集市街地対策など、災害対応力の強化に向けた取組みが進められている。

⇒カーボンニュートラル実現に向けたまちづくり分野での取組みや、激甚化・頻発化・切迫する自然災害への対応の強化について検討を進める。

【2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組み】



出典：「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」経済産業省（令和2年）

【激甚化・頻発化・切迫する自然災害への対応】

一級河川 六軒家川 防潮堤補強【工事中】



一級河川 六軒家川 防潮堤補強【完成】



地盤改良

出典：大阪府国土強靱化地域計画進捗状況より

急傾斜崩壊対策事業（柏原市 畑(4)地区）



出典：大阪府国土強靱化地域計画進捗状況より

まるごとまちごとハザードマップの例

浸水深に関する情報例



避難行動に関する情報例



出典：「まるごとまちごとハザードマップのすすめ」（国土交通省）より

■都市のストック・ポテンシャルの活用

・民間活力を導入したPMO型指定管理等による公園・緑地の魅力向上や、御堂筋での既存道路空間の再編など、都市のストック・ポテンシャルを活用した取組みが進められている。

⇒ 先進的な取組みの横展開をはじめ、みどり・オープン空間の利活用、水辺や歴史資源の魅力創出などについて検討を進める。

【公園・緑地におけるPMO等の導入】



てんしば



大阪城公園



大阪城公園

出典：「大阪パークビジョン（案）」（大阪府・大阪市）（R3年10月）より

【御堂筋の魅力向上】

ファーストステップ

側道歩行者空間化



将来ビジョン

人中心〜フルモール化



【都心部全体の交通ネットワークの再編】



出典：「御堂筋将来ビジョン」（大阪市）（2019年3月）より



なんば駅周辺 道路空間再編の社会実験

3. 新しいまちづくりグランドデザイン（たたき台）

※現時点の検討状況をお示ししたものです。
引き続き、関係者のご意見を伺いながら、
検討を深めていきます。

■ 大阪都市圏の特徴等

交通ネットワーク上を中心に都市機能が集積した市街地が連坦し、コンパクトな府域を形成

近隣府県の個性ある都市と一体となって都市圏を形成

大都市でありながら、豊かな自然環境や歴史・文化資源等の多様な地域資源が集積

1970年大阪万博から50年余りが経過、大阪の成長・発展を支えてきた多くの都市ストックの更新により、大都市のリノベーションが可能

大阪版BID制度を全国に先駆け立ち上げるなど、民間の力を活用したまちづくりを推進

【自然との近接性】

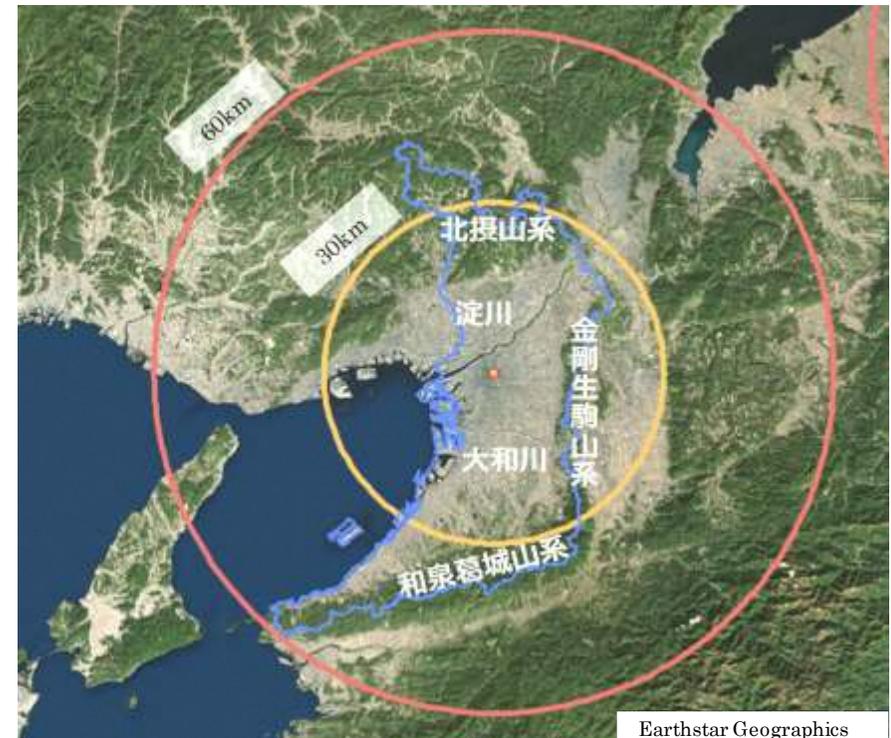
⇒ 多様な都市機能・地域資源等が集積する強みを活かし、ポストコロナを見据え、**SDGsの達成**とともに、万博を契機とした**最先端テクノロジーの導入**や**グリーン社会の実現**など、都市機能・空間を次世代型に更新し、**東西二極の一極を担う副首都**として、**国際金融**など多様な機能を備えた**世界から選ばれる都市**を形成することが求められる。

■ 将来像

東西二極の一極を担う副首都として、

新たな価値を創造する大阪

～多様な魅力を備えた人中心のまちづくりの推進～

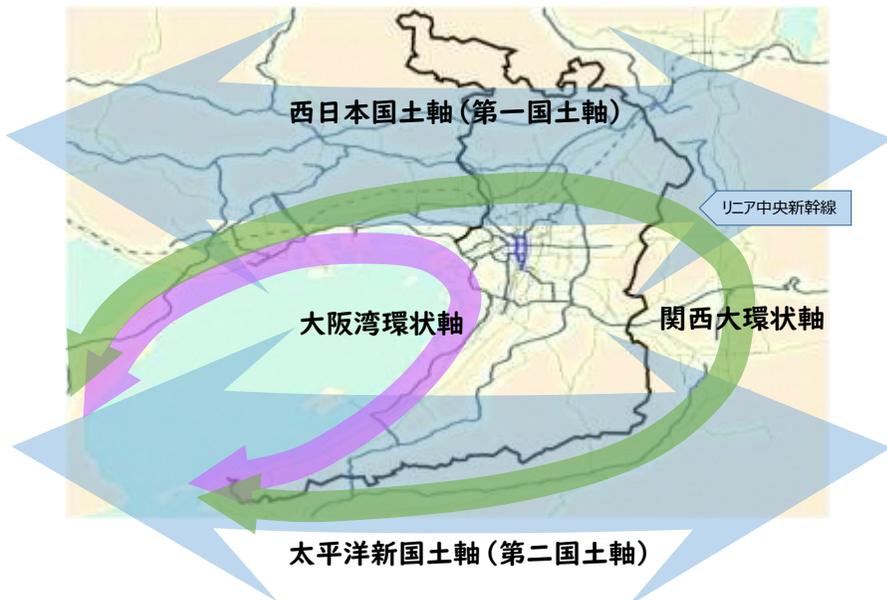


■めざすべき都市構造

①広域レベル

国土軸・環状軸の形成・強化

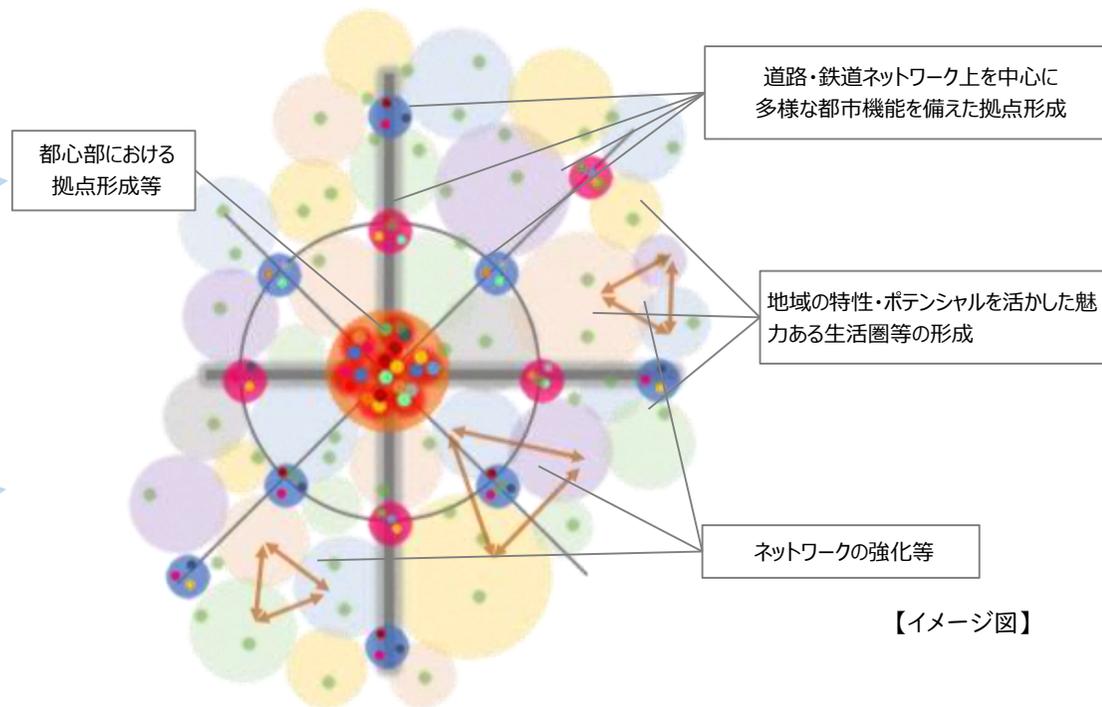
全国や都市圏内外での人・モノ・情報の交流・連携を強化するため、国土軸及び環状軸の形成・強化を図る。



②府域レベル

“マルチハブ&ネットワーク型都市構造”の形成・強化

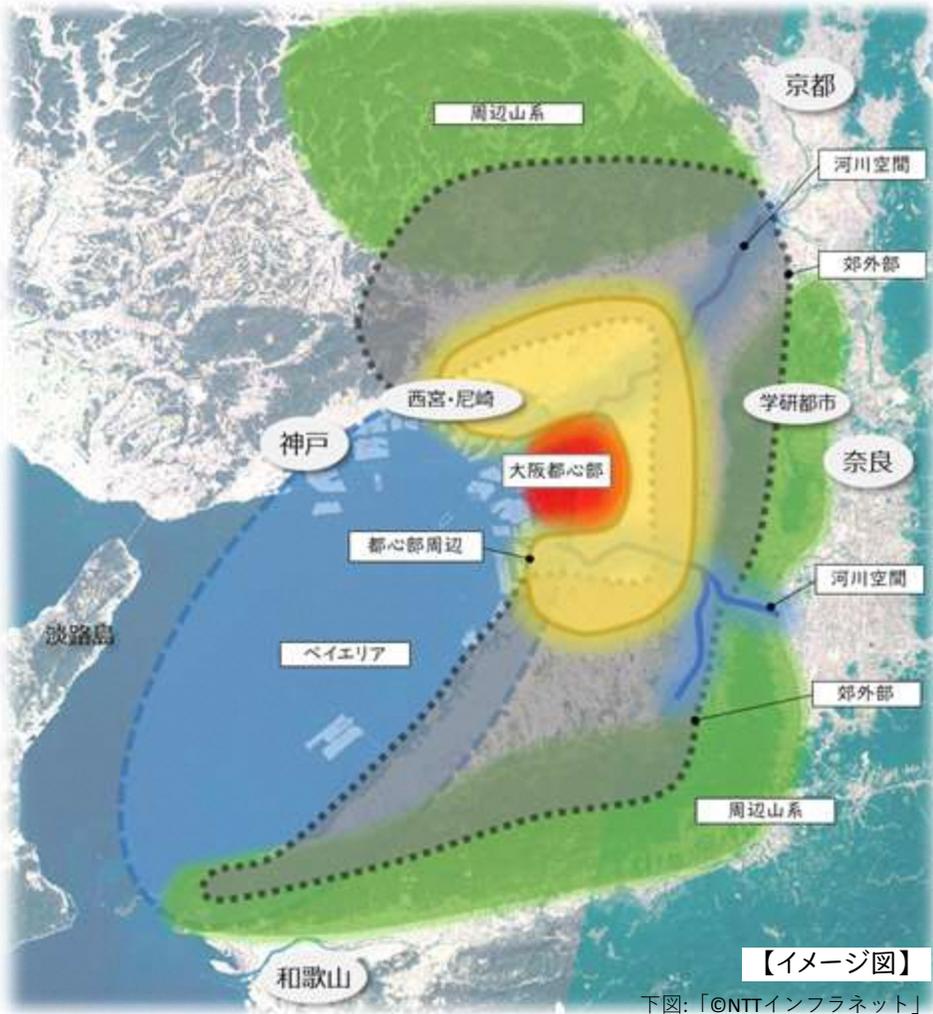
都心部での拠点形成とともに、道路・鉄道ネットワーク上を中心に、多様な都市機能を備えた拠点や、魅力ある生活圏等が形成され連携する都市構造をめざす。



【イメージ図】

■ゾーニングとまちづくりの大きな方向性

【府域の概ねのゾーニング】



【イメージ図】

下図: 「©NTTインフラネット」

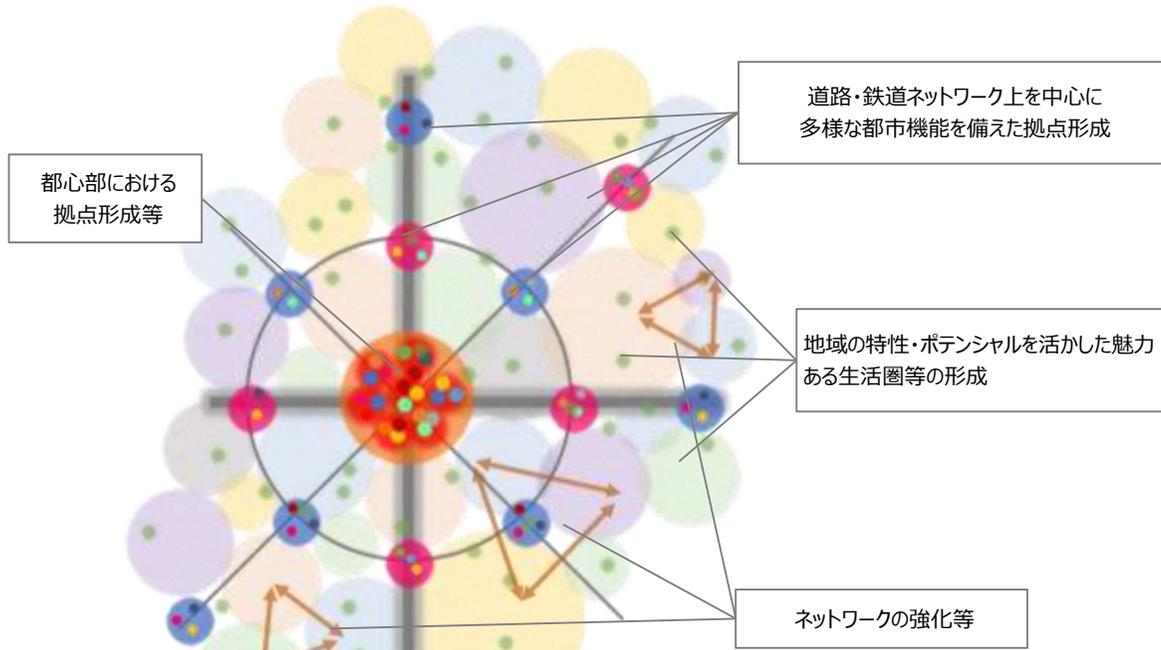
【ゾーニング別のまちづくりの大きな方向性】

ゾーニング	まちづくりの大きな方向性
大阪都心部	大阪都市圏の中心として、国際金融などの高度なビジネス機能や多彩なエンターテインメント機能、魅力的な商業や居住機能などの多様な都市機能が集積した、世界で存在感を発揮する一大拠点を形成
都心部周辺	都心部と一体となって大阪の成長・発展をけん引するゾーンとして、大阪の中核を担う拠点を形成するとともに、多様な都市機能・地域資源が集積するメリットを活かし、多様な都市居住ニーズに対応するまちづくりを推進
郊外部	都心部や周辺主要都市へのアクセス利便性が高く、豊かな自然環境等を有するメリットを活かし、多様な働き方・暮らし方を実現できるまちとして、大阪ならではの新しい郊外を創造するとともに、大阪の中核を担う拠点を形成
ベイエリア	世界とつながるゾーンとして、世界で存在感を発揮する拠点形成とともに、多彩な地域資源を活かした広域連携の取組みによりエリア全体の魅力を向上
河川空間	海と山麓、沿川の市町村をつなぐゾーンとして、水辺空間をはじめ、魅力ある地域資源を活かした広域連携の取組みにより、エリア全体の魅力を向上
周辺山系	都心部との近接性を活かし、多様な歴史・文化資源や自然環境を活かした広域連携の取組みにより、多彩なアクティビティを楽しめるゾーンを形成

■まちづくりの戦略と取組みの方向性

戦略1) 大都市・大阪に相応しい拠点の形成

- ◆世界の中で存在感を発揮する拠点
都心部やベイエリアにおいて、国際競争力を備えた拠点形成を促進
- ◆大阪の中核を担う拠点
交通ネットワークの高い結節性を有し、広域的観点から、大阪の成長・発展を支える拠点形成を促進
- ◆経済成長を促す産業拠点・集積ゾーン
ものづくり産業や健康・医療関連産業、環境・新エネ産業など、大阪の成長・発展をけん引する産業拠点の形成や、幹線道路沿道やベイエリア等での新たな産業用地の創出 など



【イメージ図】

戦略2) 大阪ならではの魅力ある郊外の創造

◆ 駅周辺を中心とした魅力ある生活圏の形成

- ・ 駅周辺の再整備等に併せた都市機能の集積、人中心の空間への転換
- ・ 新たなモビリティを活用したネットワークの充実 など

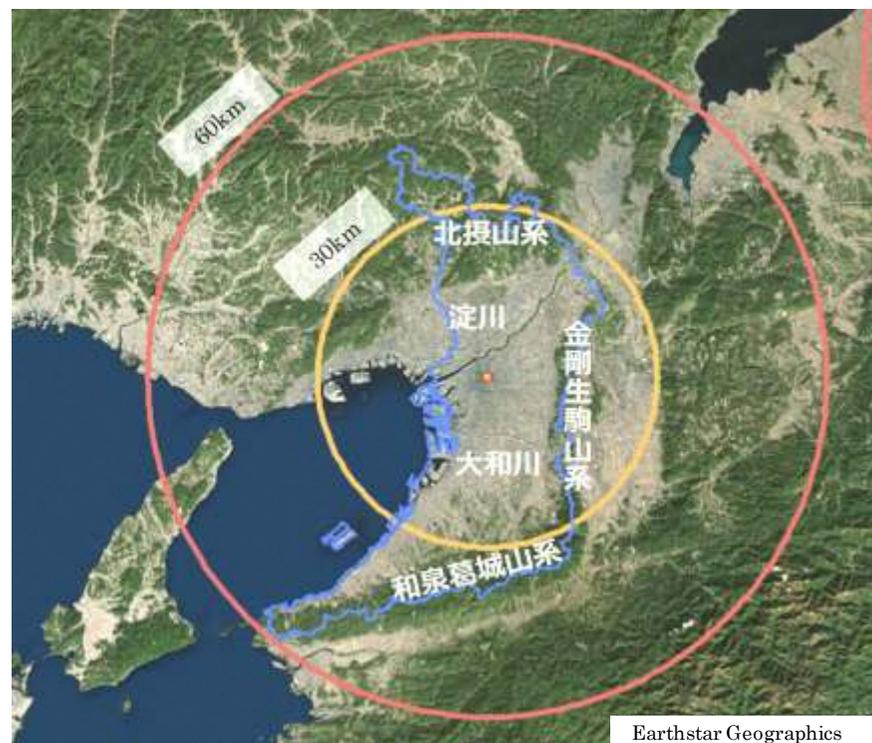
◆ 自然との近接性を活かし、豊かな自然を活かしたまちづくりを進める

- ・ AIオンデマンド交通等による交通アクセスの確保
- ・ 既存ストックを活用した働く場等の確保、先端技術を活用した生活支援サービスの提供
- ・ 豊かな自然を体験できるまちづくり、ワーケーションやマルチハビテーションの促進 など

◆ 郊外住宅地を多様な世代が住み、働き、交流するまちに生まれ変わらせる

- ・ 働く場の創出や地域の核となる機能の導入
- ・ 新たなモビリティを活用した移動の円滑化
- ・ 周辺の田園環境を活かした農との共存 など

【自然との近接性】



下図:「©NITインフラネット」

出典:「グランドデザイン・大阪都市圏」より

戦略3) 海・川・山の地形的特徴や歴史・文化等の多様な地域資源を活かす

- ◆ベイエリアのまちづくりを推進する
 - ・多様な地域資源・ストックを活かしたまちづくり
 - ・海上交通・サイクル等による回遊性の向上 など

- ◆河川空間を活かし、魅力あるまちづくりを進める
 - ・舟運活性化や水辺空間の整備等にぎわい創出
 - ・サイクル等による回遊性の向上 など

- ◆周辺山系の地域資源を活用し地域全体の活性化を図る
 - ・自然公園、歴史・文化、風景地等のネットワーク化
 - ・民活による利用促進・利便性向上 など

- ◆多様な地域資源を活かした魅力あふれる都市の形成
 - ・みどりのネットワークの形成、水辺空間等の魅力創出
 - ・歴史・文化・景観資源やアートを活かしたまちづくりなど

【豊かな自然環境等】



戦略4) 人・モノ・情報の交流を促進

◆交通インフラ・新たなモビリティと連携したまちづくり

- ・道路、公共交通の充実・強化とまちづくり
- ・空港・港湾の機能強化
- ・自転車、水上交通、エアモビリティ等との連携

◆デジタル技術を活用したまちづくり

- ・地域特性を活かしたスマートシティの推進など、大阪版のデジタル田園都市の実現 など

【モビリティの進展を踏まえたまちづくり】



出典：「2040年、道路の景色が変わる」国土交通省（令和2年）

戦略5) 安全・安心でグリーンな社会を実現

◆災害に強いまちづくり

- ・地震、土砂災害、水害等に強いまちづくり
- ・地域防災力の向上や災害リスクを踏まえた土地利用の誘導 など

◆グリーン社会の実現に向けたまちづくり

- ・省エネ・再エネ拡大等につながるスマートで強靱なまちづくり
- ・グリーンインフラを活用した自然共生のまちづくり など

【災害に強いまちづくり】

（まるごとまちごとハザードマップの例）



出典：「まるごとまちごとハザードマップのすすめ」（国土交通省）より

新しいまちづくりのランドデザインの策定に向け、引き続き、関係者のご意見を伺いながら、検討を深めていきます。